



2022年10月20日

各 位

会 社 名 株式会社 技研製作所
代表者名 代表取締役社長 森部 慎之助
(コード番号 6289 東証プライム)
問合せ先 専務取締役 前田 みか
(TEL 088-846-2933)

2022年8月期 決算説明会資料に関するお知らせ

2022年8月期決算説明会資料につきまして、別紙のとおりお知らせいたします。

以上



2022年8月期 決算説明会

株式会社 技研製作所 代表取締役社長

森部 慎之助

目次

- **事業概要** P 3
- **2022年8月期の成果** P 9
- **2022年8月期決算概要** P 23
- **2023年8月期の業績予想と今後の展開** P 28
- **株主還元** P 39
- **長期・中期経営計画** P 41

事業概要

事業概要

1967年 公害対処企業として高知市で創業

当時は高度経済成長の真っ只中で、急速に近代国家へ躍進

一方で、建設工事による騒音と振動が社会問題化



1975年 世界で初めて

「圧入原理」を実用化した

無振動・無騒音の圧入機

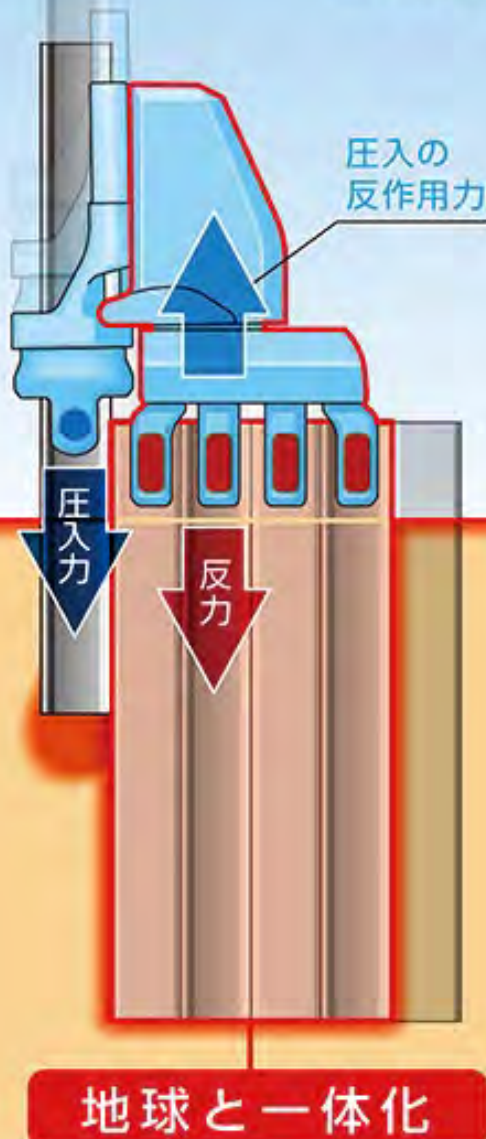
➡ 「サイレントパイラー®」を発明

杭打ち工事の無公害化

事業基盤の確立



圧入原理



地球をつかんで反力とし、
静荷重で杭を地中に押し込む

- 無振動・無騒音
- 軽量、コンパクト、高い安全性
- 粘り強い構造物を構築

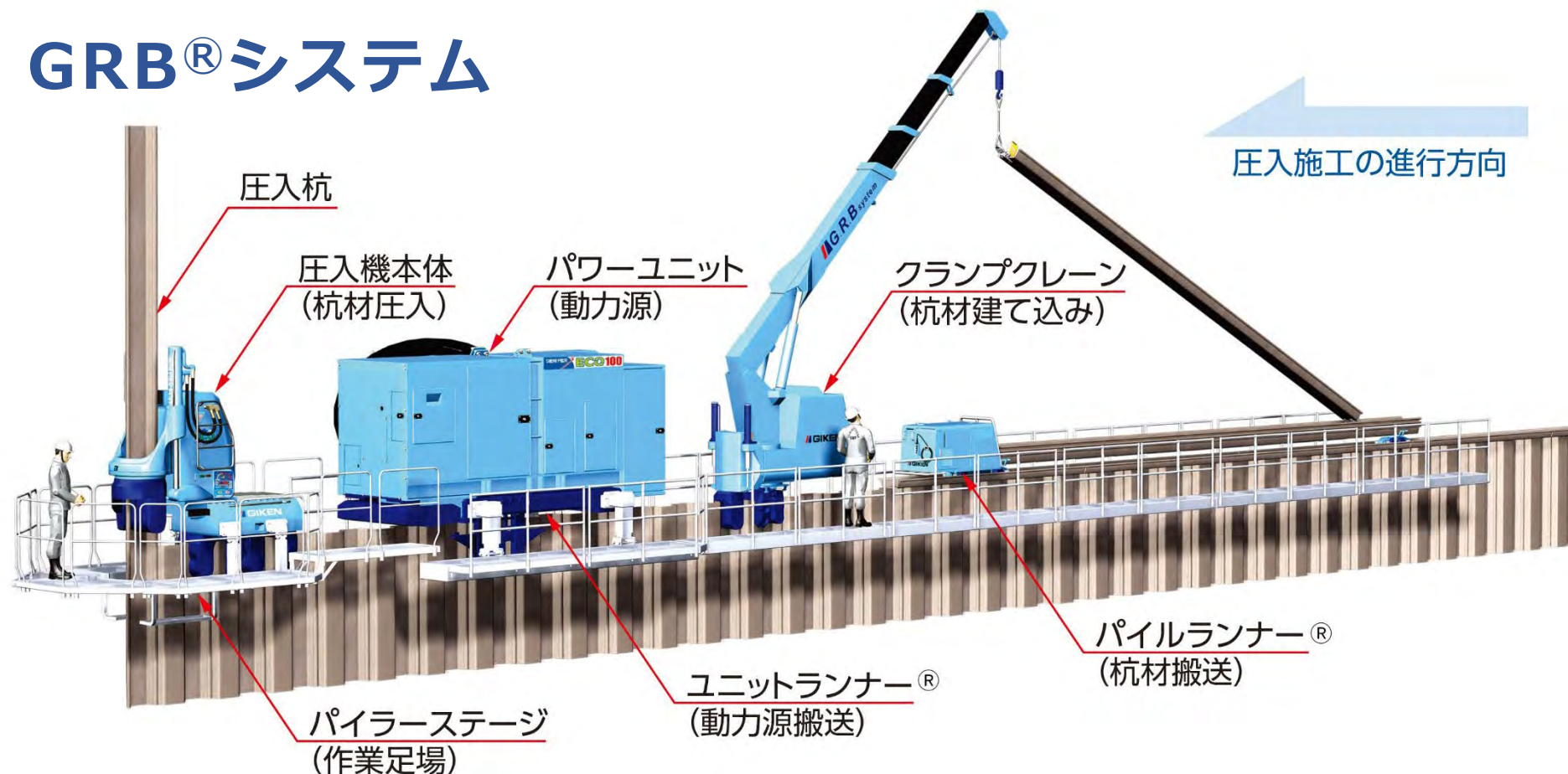
硬質地盤を克服し、適用地盤を拡大



仮設レス施工

- …◎機械が既設杭上を自走するシステム施工
- ◎作業用仮設工事（構台、棧橋等）を不要に
 - 省スペースで、経済活動を阻害しない
 - 工期・工費を縮減。CO₂の排出量を削減

GRB[®]システム

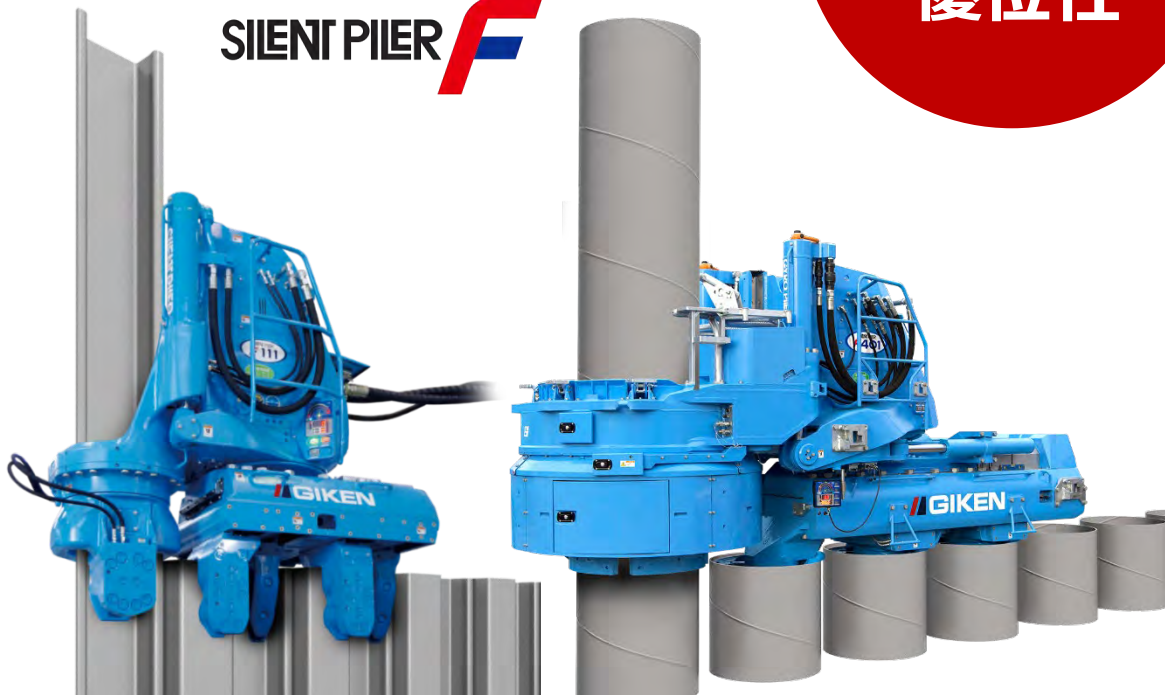


圧入原理の優位性を基軸にした開発型企业

建設機械事業

無公害杭圧入引抜機
サイレントパイラー®

SIENTPIER **F**



圧入原理の
優位性

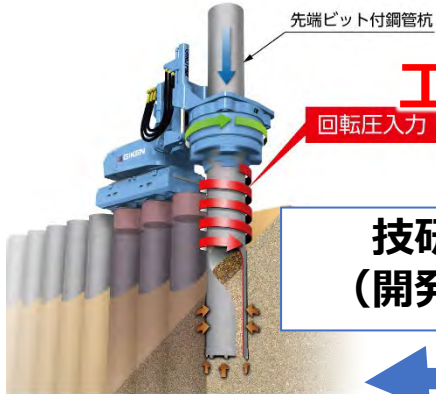
圧入工事事業

防災・減災、都市再生
インプラント工法®



事業概要

GIKEN
グループ



工法技術提案

技研施工が施工
(開発段階の工法)

発注者

社会課題

防災

災害復旧

高速道路

港湾改修

『圧入市場』の創造
(圧入工法を前提とする案件市場)

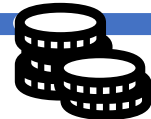
工事案件形成、発注

コト提供
(技術・ノウハウ)

モノ提供 (製品)

ユーザー

『圧入業界』の成長
(圧入市場で事業を行う新しい業界)



2022年8月期の成果

前期のトピック【国内案件】

堤防周辺の地盤沈下対策に「インプラント NAVI®」採用

基盤層に届く43m超の長尺鋼矢板を高精度に施工

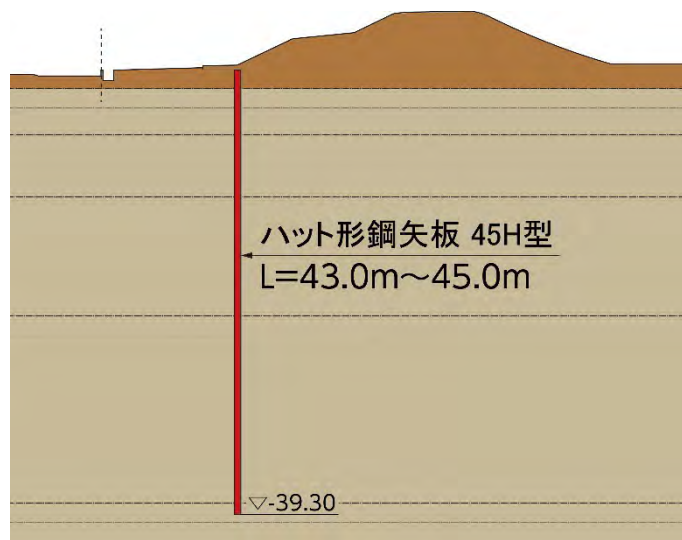
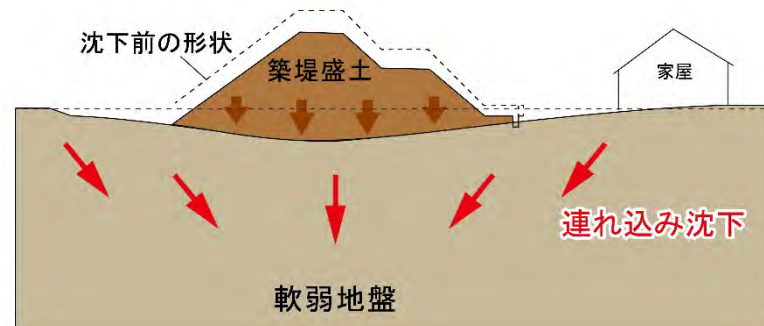
島根県出雲市
神戸川



インプラント NAVI®により
杭圧入を高精度にナビゲート

2021年5月～施工中

2025年度までに
約7.8kmの工事が計画



前期のトピック【国内案件】

民間石油貯蔵基地の側方流動対策に採用（民間BCP対策）

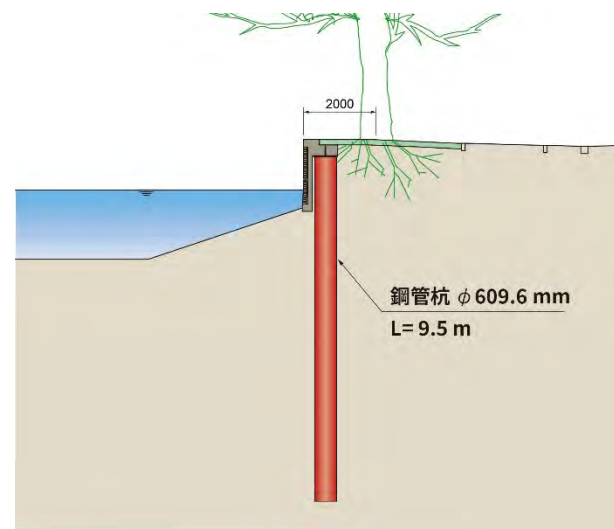
スキップロック仕様のジャイロパイラー®で長さ22 mの飛び杭を急速構築

香川県高松市朝日町の
臨海工業地帯



前期のトピック【海外案件】

オランダ デン・ハーグ市の運河護岸改修に「ジャイロプレス工法®」 アムステルダム市の世界遺産運河の護岸改修プロジェクトが波及



前期のトピック【海外案件】

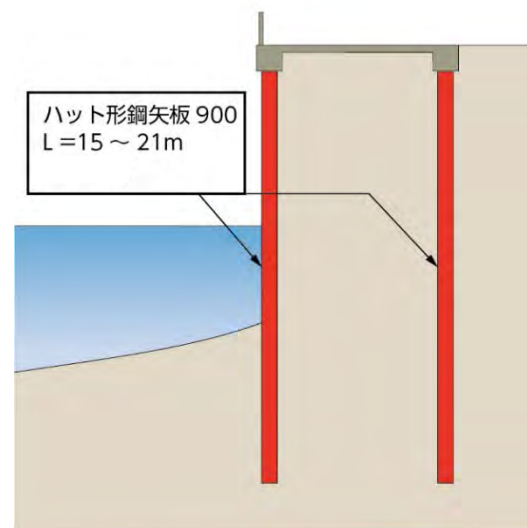
タイ パサック川の護岸整備に「インプラント工法®」

現地企業に機械販売。継続採用、世界各国の治水対策への波及を期待

「サイレントパイラー® F301-900」を販売
整備区間約52kmのうち、まず2kmを施工
900mm幅ハット形鋼矢板2797枚を圧入



- ・「無振動、無騒音」により
周辺住民への影響を最小限に
- ・「高精度施工」により
修正対処を削減。スピーディーに施工



前期のトピック【海外案件】

インドにユーザー獲得

巨大市場に本格参入。インプラント工法®「未開の地」の開拓の糸口に

2022年1月「サイレントパイラー® F301-700」を納入

2022年1月より施工が進行中

10月にもう1台追加納入

オディシャ州カタック市の 雨水排水施設の整備事業

750mm幅のU形鋼矢板を
両岸約5.8 kmにわたって
約7,000枚圧入。

建設に必要な土留め壁を構築



- ・ 振動式の工法で土留め壁を構築したところ近隣の建物にひび
→ 「無振動、無騒音」の圧入技術が評価

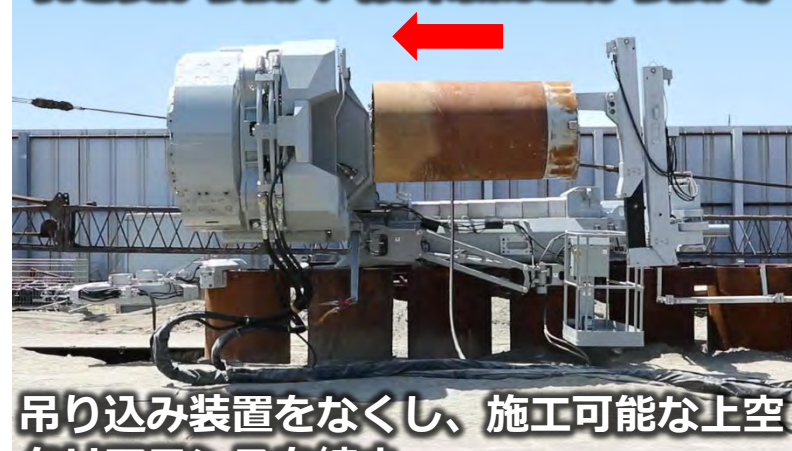
前期のトピック【開発】

超低空頭対応の「ジャイロパイラー®」開発

2.5 mの上空クリアランスでの施工を実現。適用範囲を広げ、圧入市場の拡大を加速化



杭を横から投入（従来機は上から投入）



立て込める杭を長尺化、施工を効率化



超硬質地盤への対応

フライホイール式オーガタッチメント

N値600以上を標準適用範囲

F111, F201, F301に対応



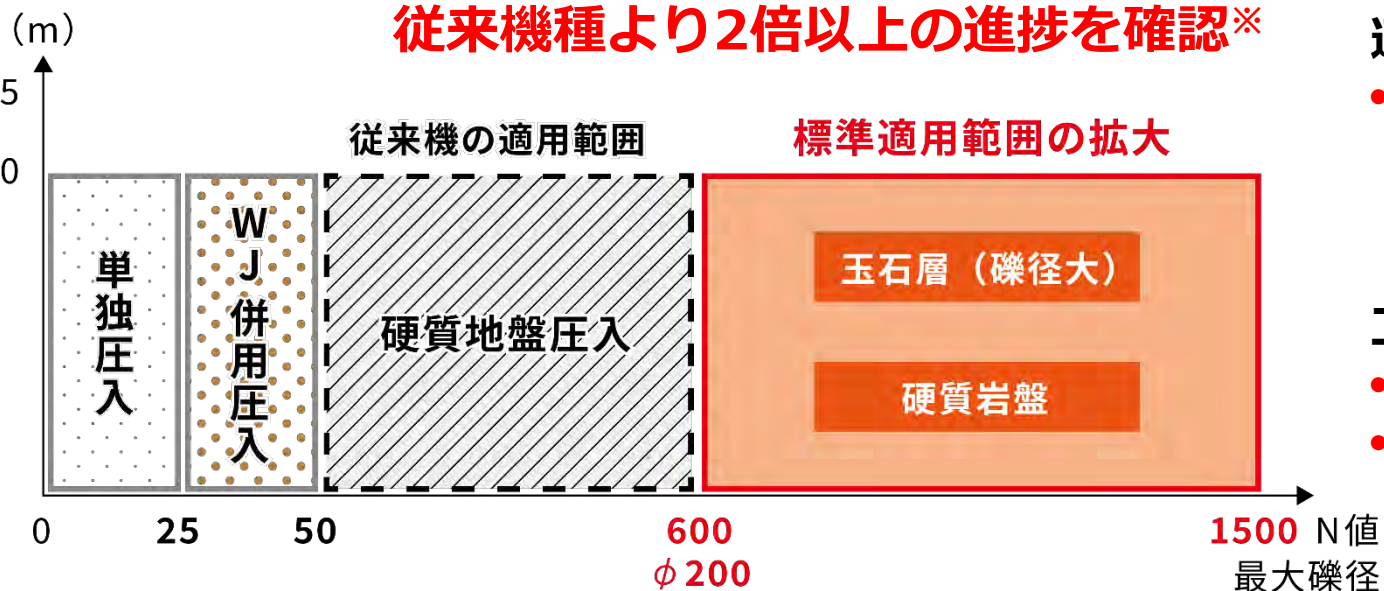
従来機種より2倍以上の進捗を確認※

適用地盤の拡大により

- 河川（玉石層）や山間部（岩盤層）などでの適用が拡大

工期短縮により

- 人手不足の解消
- CO₂の排出を抑制



※当社による実証試験の結果であり、製品の性能を保証するものではありません。

前期のトピック【開発】

国の「月面等での建設活動プロジェクト」に参画

国交省と技術研究開発（R&D）契約を締結（7月）

今後4年間で、施工データを利用し設計施工を合理化する技術の確立と、月面適用性を確保する技術研究開発を行う。

遠隔操作技術

自動運転技術

月面向けの開発技術は、
地上での効率化にもつながる

前期のトピック【開発】

完全自動運転を拓く「PPTシステム[®]」がNETIS※「準推奨技術」に
2022年5月選定。 地盤情報推定から圧入まで自動化。普及を強力に後押し

圧入機が自動判断・実行

圧入中に取得した
データから
地盤情報を推定

圧入条件を自動設定

圧入の実行

圧入力
トルク
速度

通常のNETIS登録技術よりも、
工事成績評定や総合評価方式
における加点数がアップ

普及の
追い風

手動運転に比べて
圧入時間を約30%短縮

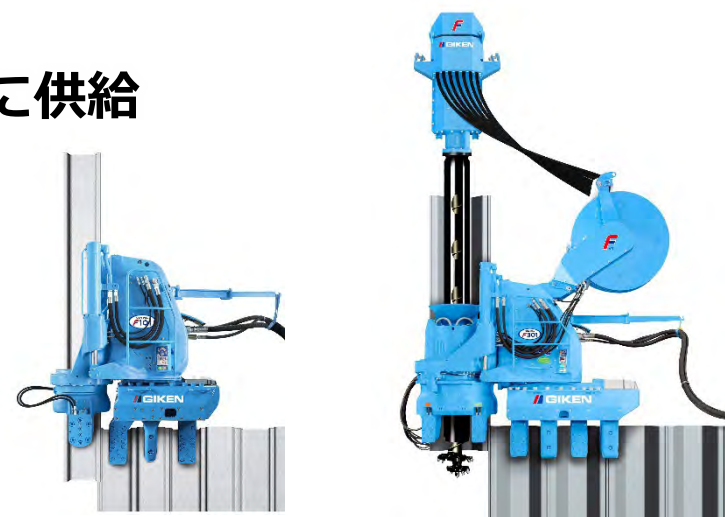


※新技術情報提供システム。公共工事等において、民間事業者等が開発した新技術を誰もが検索でき、利用できるように整備されたデータベースで、国土交通省が運用。

前期のトピック【販売戦略】

受注生産の本格化

- 生産を平準化、効率化
- 「ジャストインタイム方式」で製品在庫リスク低減
- ユーザーからの急なニーズに対しては
伊藤忠TC建機が一定在庫を保有しタイムリーに供給



前期のトピック【経営戦略】

建機レンタル大手アクティオと業務提携。新規ユーザー開拓



顧客数拡大

当社ユーザー200社

アクティオのもつ潜在顧客は

800社

広域営業網

当社営業拠点6カ所

アクティオの営業拠点

700拠点以上を活用

参入障壁の排除

従来のレンタルは
既存ユーザー向け

今後は非ユーザーへの
「お試しレンタル」も

前期のトピック【経営戦略】

「インプラント NAVI®」の本格運用を開始。

元請会社をターゲットとして、施工精度の飛躍的向上、施工管理の省人化、生産性向上を実現し、圧入工法の市場拡大を狙う。

国交省「ICT施工の基準類作成」で基準化元請に対するインセンティブを創出

受注者は要領に沿った技術の提案や現場導入を行うことで、総合評価や工事成績評定で加点評価されるメリット

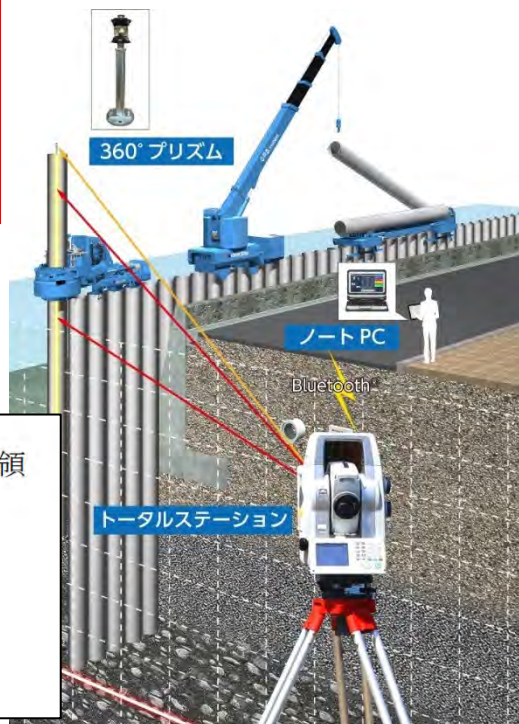
普及の追い風

3次元計測技術を用いた出来形管理要領
(案)

令和4年3月版

国土交通省

GIKEN X



製品供給、営業アプローチは
建機レンタル大手西尾レントオール

西尾レントオール株式会社

営業拠点は全国250カ所以上



前期のトピック【人への投資・エンゲージメント向上】

生産性の向上を目指し
人材獲得や人材育成など
社内改革を戦略的に実施
→各種受賞や選定を実現



「女性活躍・子育て支援リーディング企業表彰」で最優秀賞

令和3年度「なでしこ銘柄」
に選定

全上場企業約3,700社から「なでしこ銘柄」
は50社、機械業種では2社のみ選定



「健康経営優良法人 2022
(大規模法人部門)」に認定



2022年8月期 決算概要

決算概要-業績推移

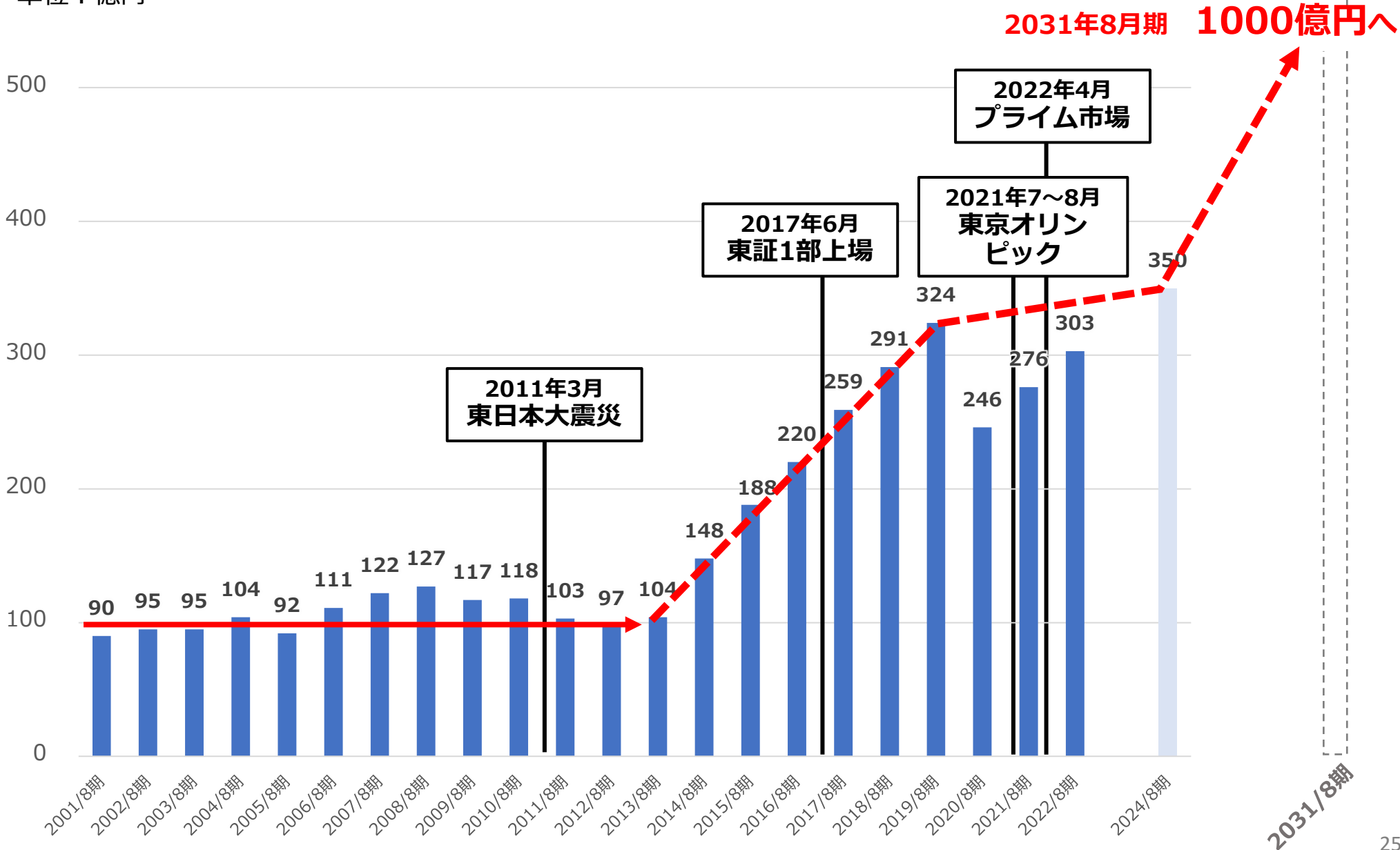
単位：百万円

	2020/8期	2021/8期		2022/8期	
			前年比		前年比
売上高	24,640	27,618	+12.1%	30,378	+10.0%
営業利益	2,498	3,997	+59.9%	4,613	+15.4%
経常利益	2,792	4,161	+49.0%	4,832	+16.1%
当期純利益 [※]	1,400	3,073	+119.4%	3,234	+5.2%
1株純利益	51.28	112.22	+118.8%	117.65	+4.8%
ROE	3.7%	8.0%	+4.3pts	8.1%	+0.1pts

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

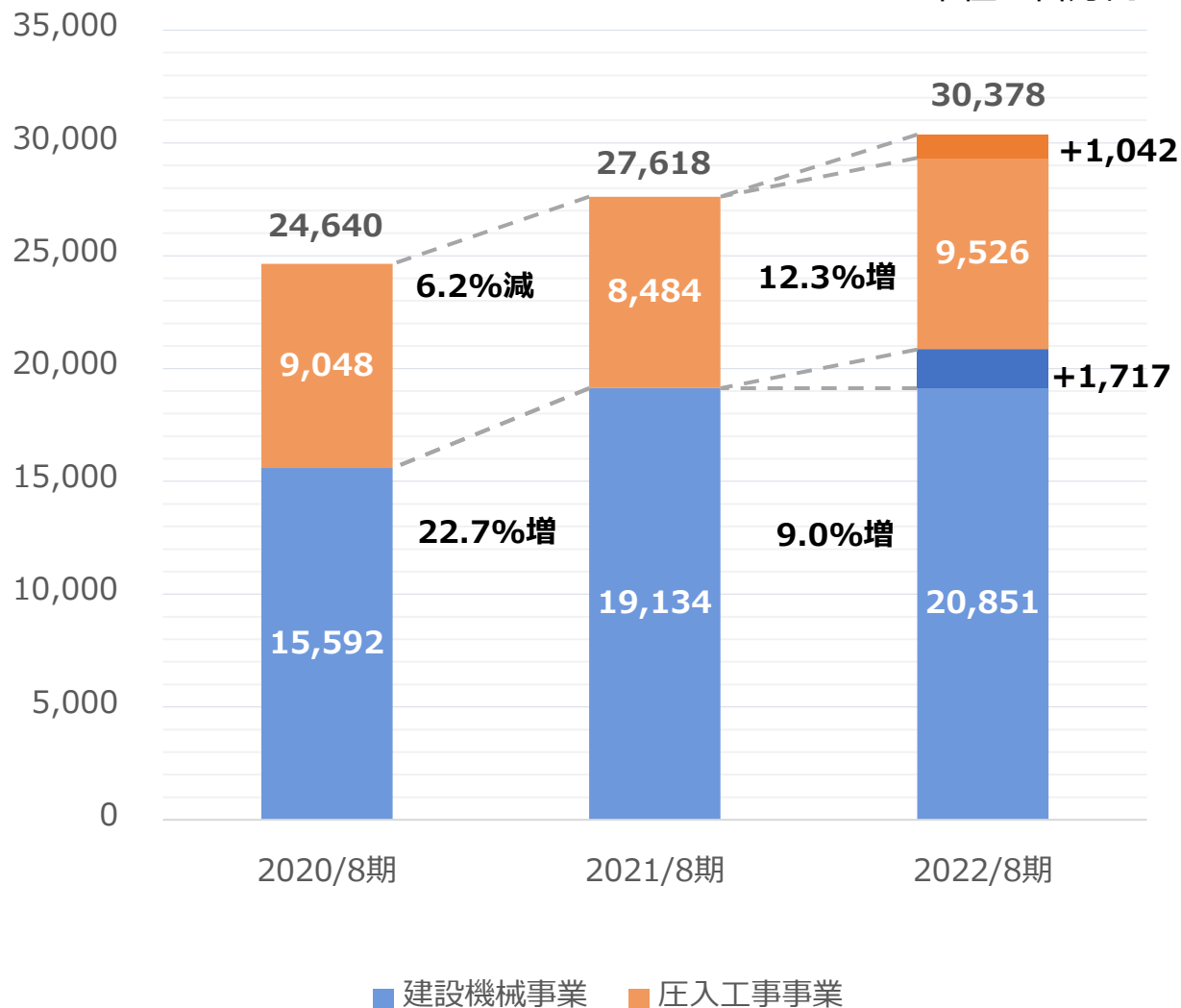
決算概要-売上高の推移（直近20年～）

単位：億円



決算概要-セグメント別売上推移

単位：百万円



◇建設機械事業 1,717百万円増

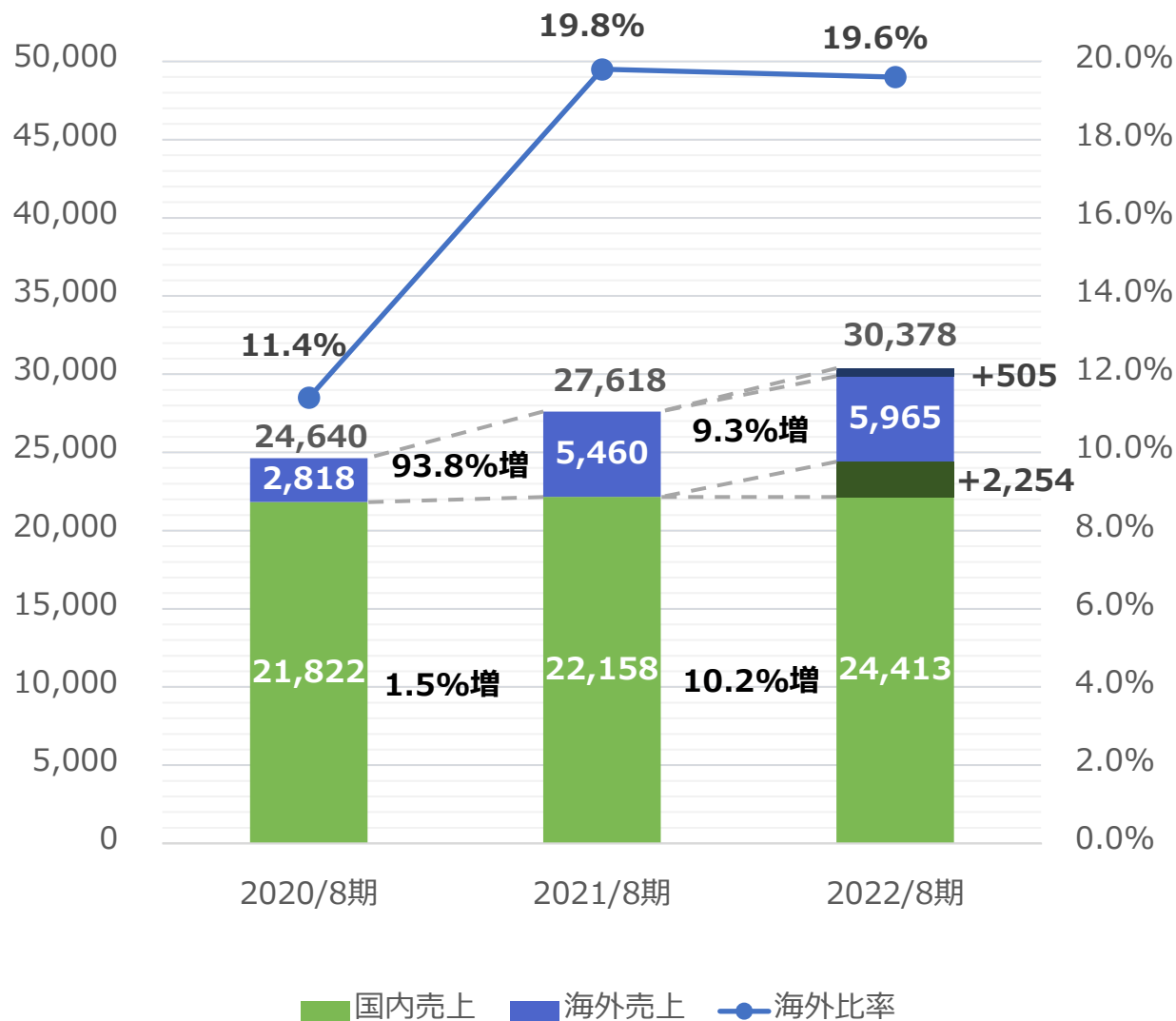
- ・一般機の入れ替え需要や900mm幅ハット形鋼矢板に適合したF301-900の販売が堅調に推移。
- ・アジア新興国への販売が増加。

◇圧入工事業 1,042百万円増

- ・災害復旧、復興工事や防災・減災関連工事等において工法採用が堅調に推移。
- ・海外での工事売上が増加。

決算概要-国内・海外売上推移

単位：百万円



◇国内売上 2,254百万円増

民間投資の回復基調が続く中、900mm幅ハット形鋼矢板用のF301-900の新規導入需要などにより製品販売が堅調に推移。

◇海外売上 505百万円増

- ・ 欧州での製品販売、オーストラリアでの圧入工事売上の計上。

2023年8月期 業績予想と今後の展開

業績予想-連結業績

単位：百万円

	2022/8期 実績	2023/8期予想			
		上期予想	下期予想	通期予想	前年比
売上高	30,378	15,600	16,400	32,000	+5.3%
営業利益	4,613	2,950	2,050	5,000	+8.4%
経常利益	4,832	3,000	2,050	5,050	+4.5%
当期純利益 [※]	3,234	2,050	1,450	3,500	+8.2%
1株純利益	117.65円	74.54円	52.72円	127.26円	+8.2%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

(1) 建設機械事業

◎顧客の設備投資意欲の回復

- 国土強靱化施策、高速道路、港湾、物流施策等、インフラ整備は堅調
- 民間による大阪万博、都市再開発等の施設整備、遮水壁等民間の事前防災対策も増加の見通し

◎新規顧客・販売チャネルの拡大

- 建設機械レンタル大手との連携を強化する等、その営業力・提案力を活用することで新規顧客を開拓し、販売チャネルを広げる

◎ヨーロッパ、東南アジア(ODA含む)での工法採用に基づく機械販売の拡大を推進

◎世界に向けた圧入をPRする実証可視化施設「RED HILL 1967」が完成し、活動を開始

圧入技術の情報発信基地「RED HILL 1967」

インプラント工法®・構造の実物を展示。見てわかる施設で世界に向けて圧入をPR

2023年春完成予定
(高知県香南市赤岡町)

創造館
(世界杭打機ミュージアム)

研究棟 (建設中)
・シアター
・技術展示スペース

実証展示エリア

「決壊しない堤防」の実物を展示

(2) 圧入工事事業

◎インプラント工法[®]の採用拡大

- 災害復旧、耐震補強、インフラ長寿命化対策を中心に高速道路、港湾整備等、インプラント工法[®]の採用と更なる適用範囲の拡大

◎パッケージで工法を提案、世界市場で工法普及を加速

- オランダアムステルダム市の運河護岸改修工事において2022年11月圧入施工開始
- オーストラリアシドニーフィッシュマーケットでの再開発プロジェクトが今秋完工
- 東南アジアにおけるODA案件の確保

今後の展開【海外】

オランダで技研のビジネスモデルを構築。各国での展開を行う。



オランダ

技術提案

『圧入市場』を創造

『圧入業界』を拡充

プロポーザルで圧倒的**最高評価**

- ・アムステルダム市世界遺産運河の護岸改修プロジェクト
- ・デンハーグ市の護岸改修プロジェクト
- ・製品提供
- ・保守、ノウハウの提供

成功パターンを各地で展開

タイ



技術提案

『圧入市場』を創造

整備区間約52kmの
パサック川護岸整備

『圧入業界』展開中

インド



技術提案

『圧入市場』を創造

雨水排水施設の整備事業

『圧入業界』展開中

今後の展開【販売戦略】

国内展開

- アクティオ等と連携した安定的な販売体制づくり
- 新規ユーザーへ当社指導員による顧客収益最大化支援

顧客数を**2.5倍**に増加

当社ユーザー**200社**

10年後には
当社ユーザー

500社を目指す

海外展開

- 電動機種を欧州で展開
→EUを足掛かりにカーボンニュートラル製品を展開



今後の展開【開発】

技術の進展

圧入機自動運転が進展
遠隔操作が可能に



圧入機自動運転の実現
操作不要による普及

無人化施工実現

カーボンニュートラル
貢献

全機種電動化展開の促進
低環境負荷による普及

電動ユニットを開発
汎用機で市場展開

2022年

2024年

将来

今後の展開【国内】

「土堤原則」見直しが進む

二重式鋼矢板を例とした自立型堤防の技術開発が進展

令和5年度国土交通省概算要求

「粘り強い河川堤防」の技術開発

【技術開発の対象構造】

技術開発の対象とする構造

- は以下を想定
- 表面被覆型
- 自立型
- その他構造

【表面被覆型の例】



【技術提案で求める性能】

- 既存の堤防の性能を毀損しないこと
- 越水に対する性能を有すること
- 「越流水深30cmの外力に対して、越流時間3時間」（評価の目安）



- 民間企業等の技術の公募を予定
- ・求める越水性能や公募条件を提示
- ・技術提案の評価を第三者機関で実施
- ・小規模試験施工等を実施予定
- ・施工後の変状をモニタリング実施予定



【施工後モニタリングのイメージ】

【技術開発のスケジュール】

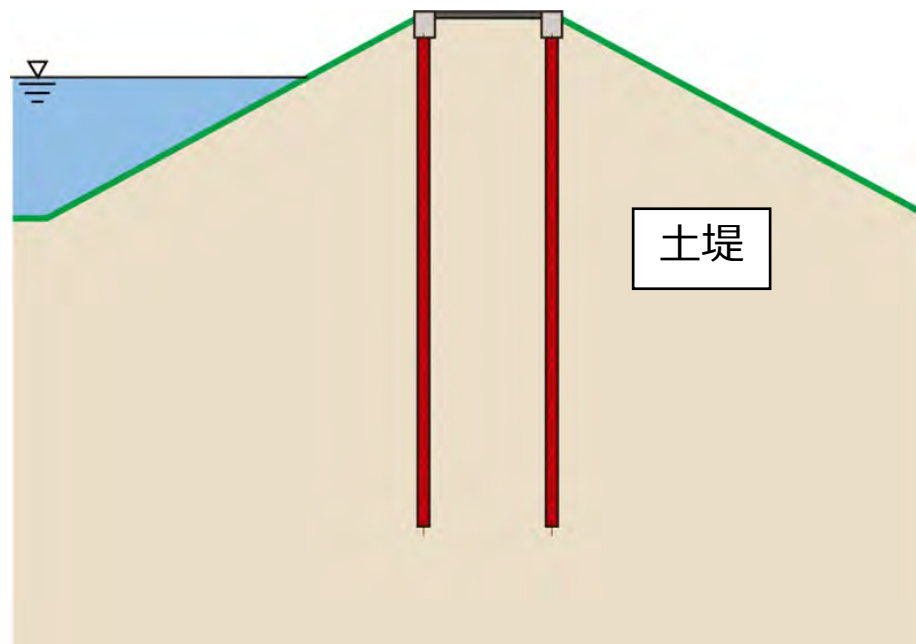


※技術提案回数（公募・応募）や期間等については今後検討
※今後の検討の進捗状況に応じて変更の可能性がある

二重式鋼矢板による自立型堤防の例

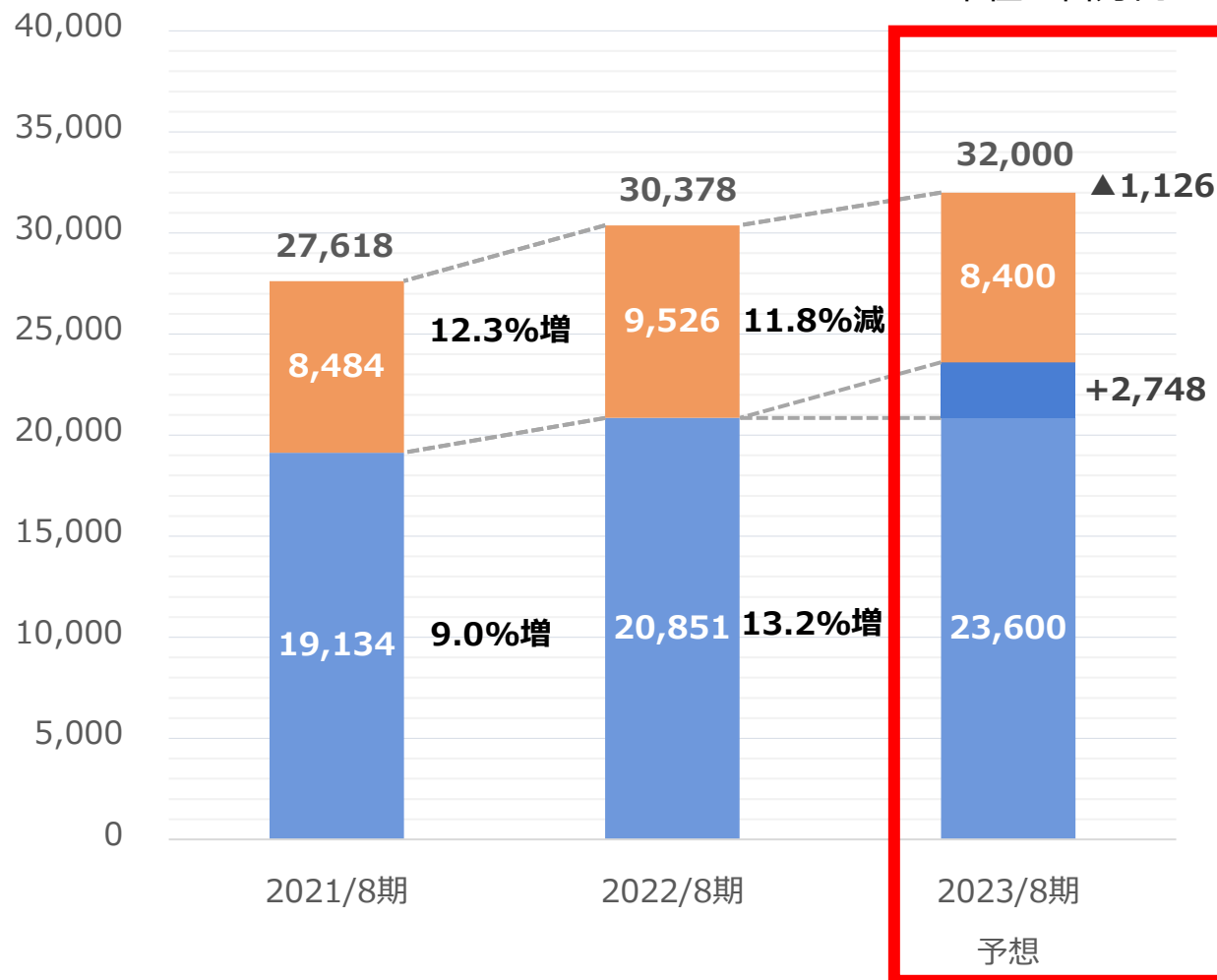
(川表)

(川裏)



業績予想-セグメント別売上推移

単位：百万円



■ 建設機械事業 ■ 圧入工事事業

◇ 建設機械事業 2,748百万円増

インプラント工法®の採用拡大によって圧入機の販売が増加。

◇ 圧入工事事業 1,126百万円減

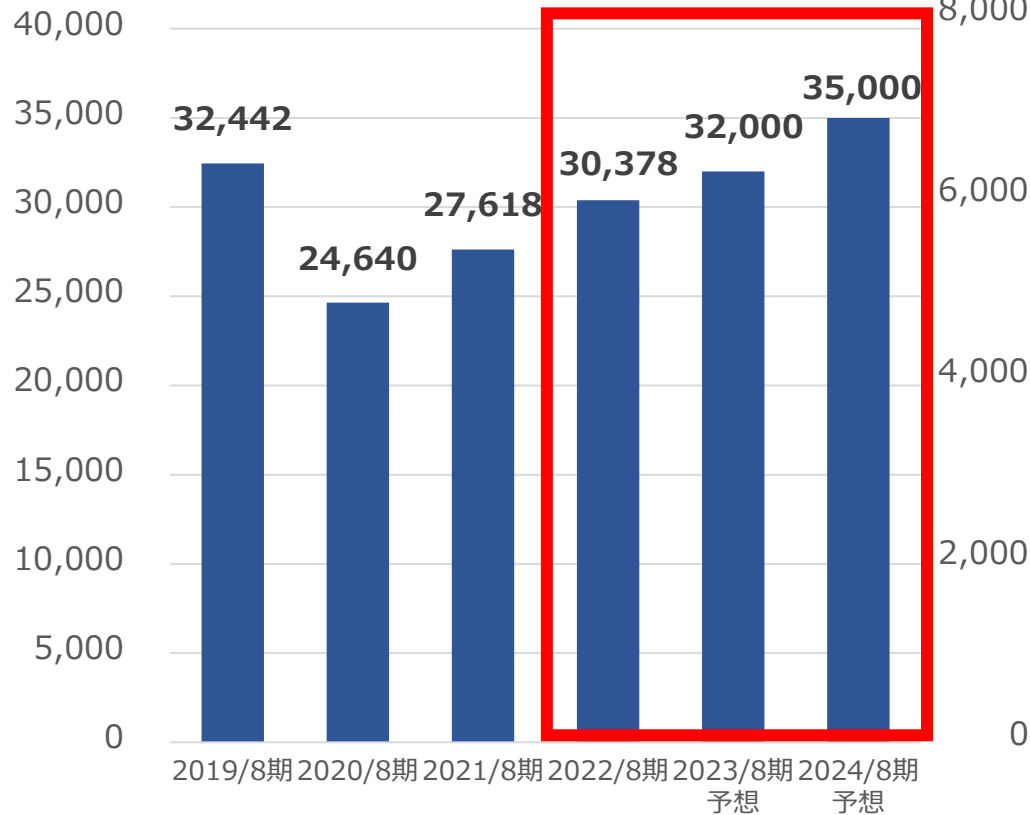
オーストラリア大型案件の工事施工の大半が前期に完了。

業績予想-中期経営計画の進捗

【売上高】

単位：百万円

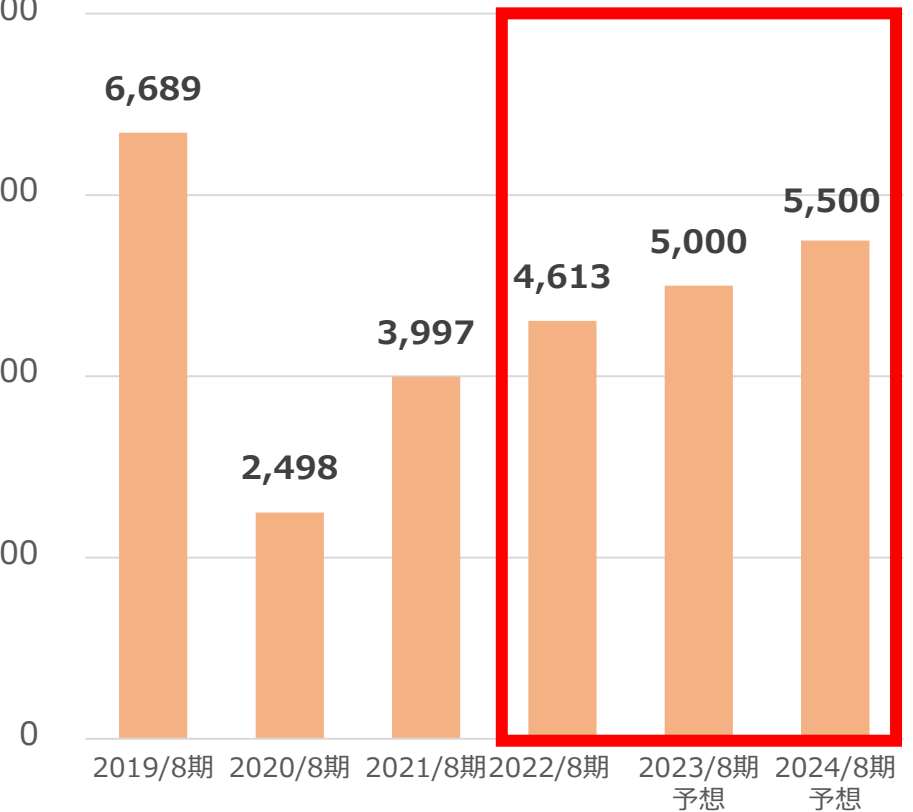
中期経営計画



【営業利益】

単位：百万円

中期経営計画



株主還元

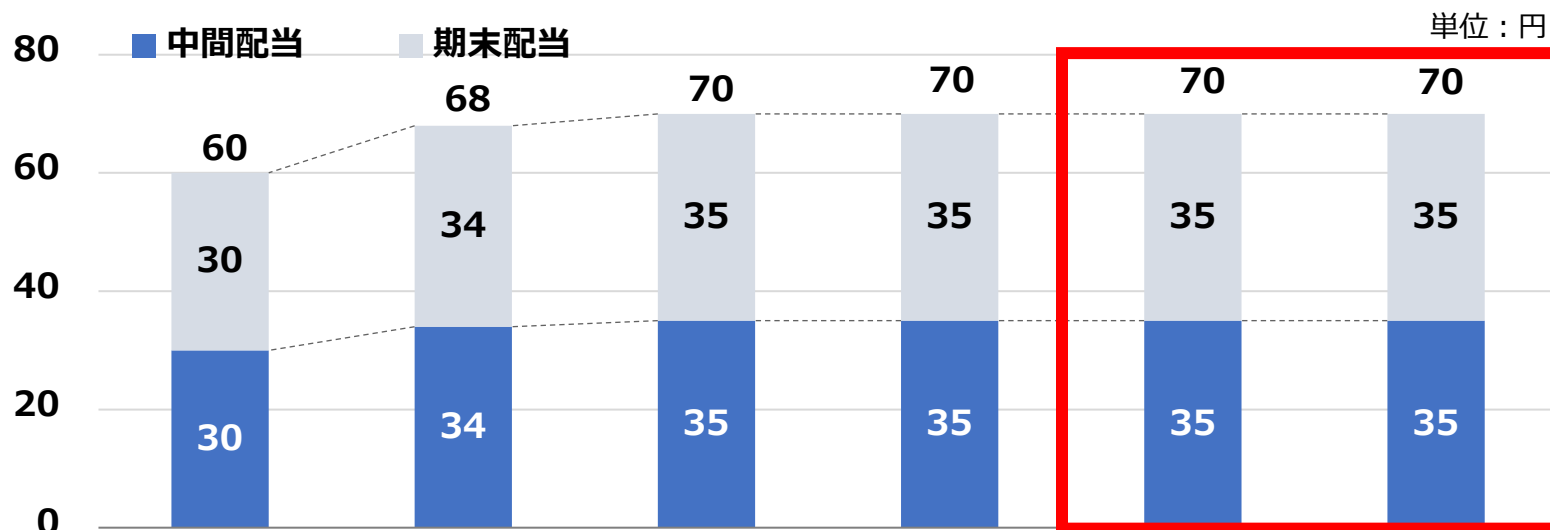
株主還元

2022/8期

第2四半期配当金…普通配当 35円 (実績)
 期末配当金 …普通配当 35円 (予想)

2023/8期

第2四半期配当金…普通配当 35円
 期末配当金 …普通配当 35円



	2018/8期	2019/8期	2020/8期	2021/8期	2022/8期	2023/8期予想
当期純利益 (百万円)	4,151	4,571	1,400	3,073	3,234	3,500
1株当たり純利益 (円)	155.75	168.80	51.28	112.22	117.65	127.26
配当性向 (%)	38.5	40.3	136.5	62.4	59.5	55.0
純資産配当率 (%)	5.7	4.8	5.1	5.0	4.8	4.6

長期・中期経営計画

GIKEN GOALS 2031 ~工法革命で未来を切り拓く~

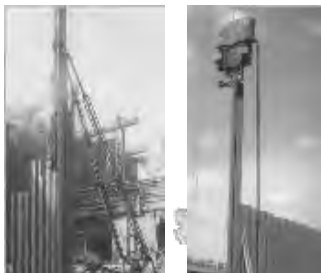
Global
Original
Automatic
Legacy
Sustainable/
Safe

地球規模の
独自の
自動の
未来へつなぐ/生き続ける
持続可能な
安全な



GIKEN GOALS 2031 使命

社会課題



建設インフラ
の更新



CO2排出量
の削減



労働人口減少



自然災害の
激甚・頻発化

持続可能な
開発

社会課題の解決

独自の技術で解決

他に影響しない
既設構造物
を残した施工

電動化
仮設レス施工

省力化
無人化

再度災害防ぐ
粘り強い構造物
の構築

時代に合った
構造物への
転換が可能



GIKEN GOALS 2031 目的

社会の大きな変化に対応するためバックキャストで戦略立案

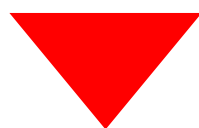
今後10年でGIKENの課題解決を
必要とする市場規模

2031年8月期売上高
1000億円

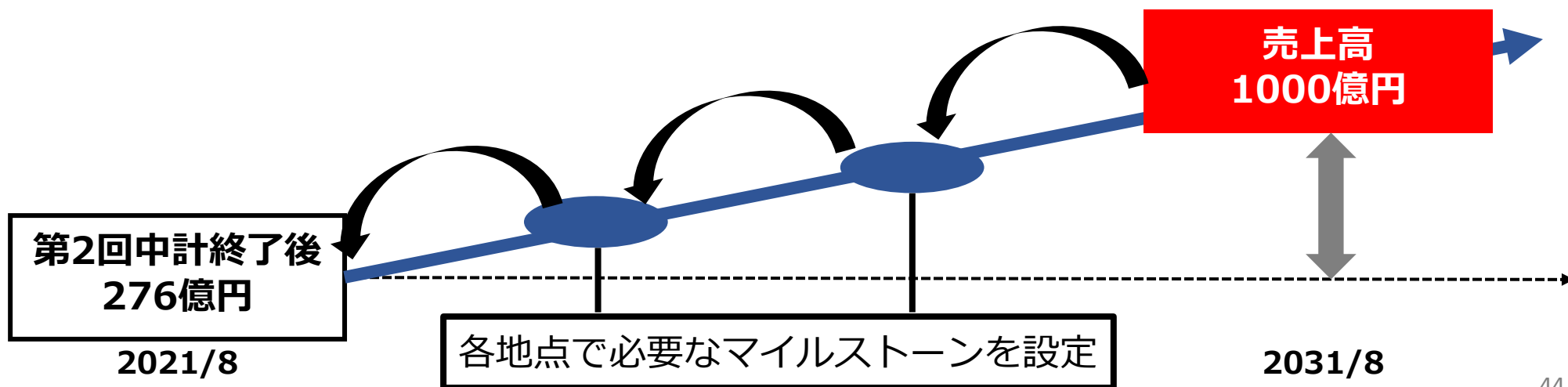


GIKEN運営のあるべき姿

*Global
Original
Automatic
Legacy
Sustainable / Safe*

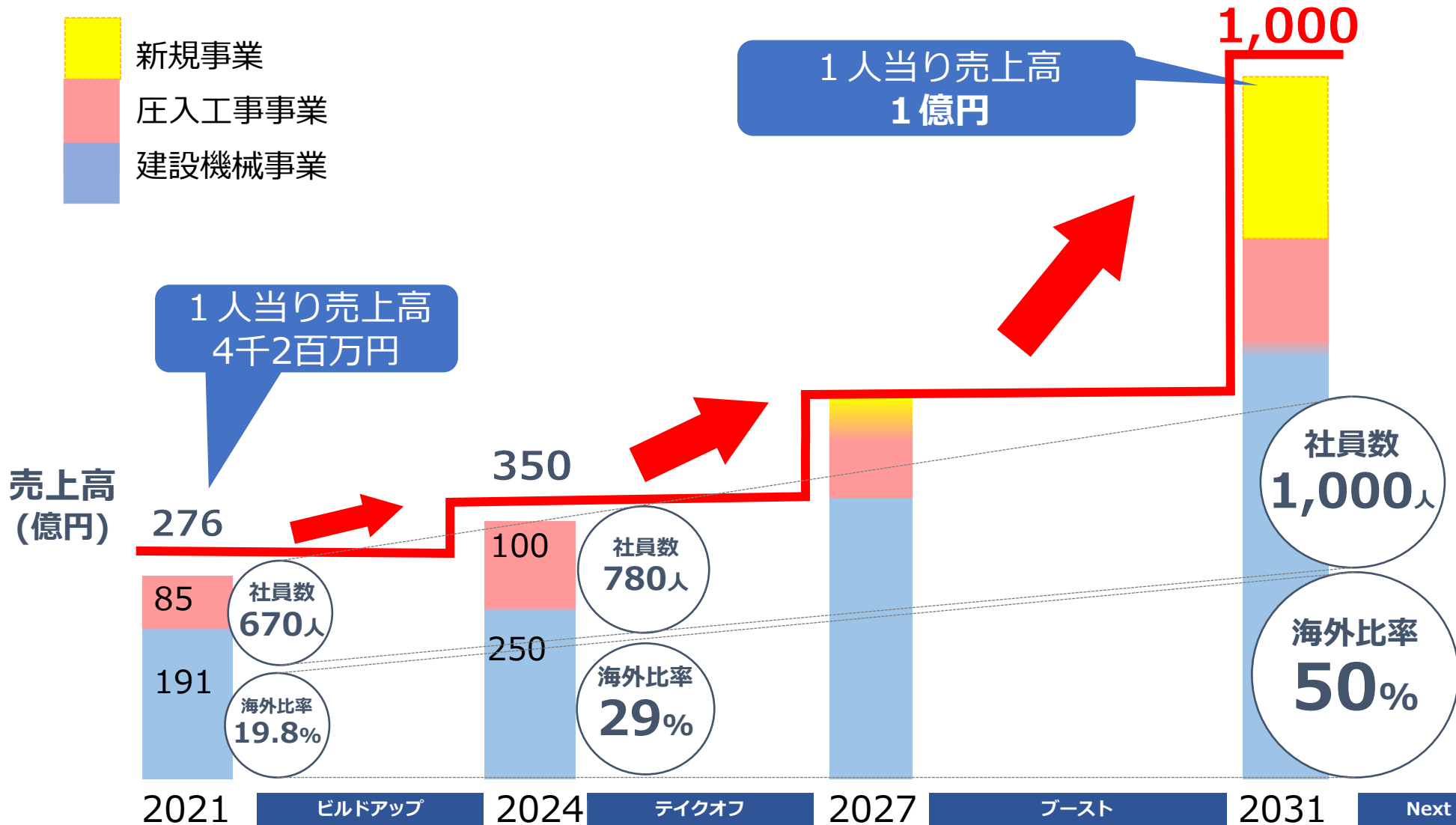


GIKEN GOALS 2031 を設定



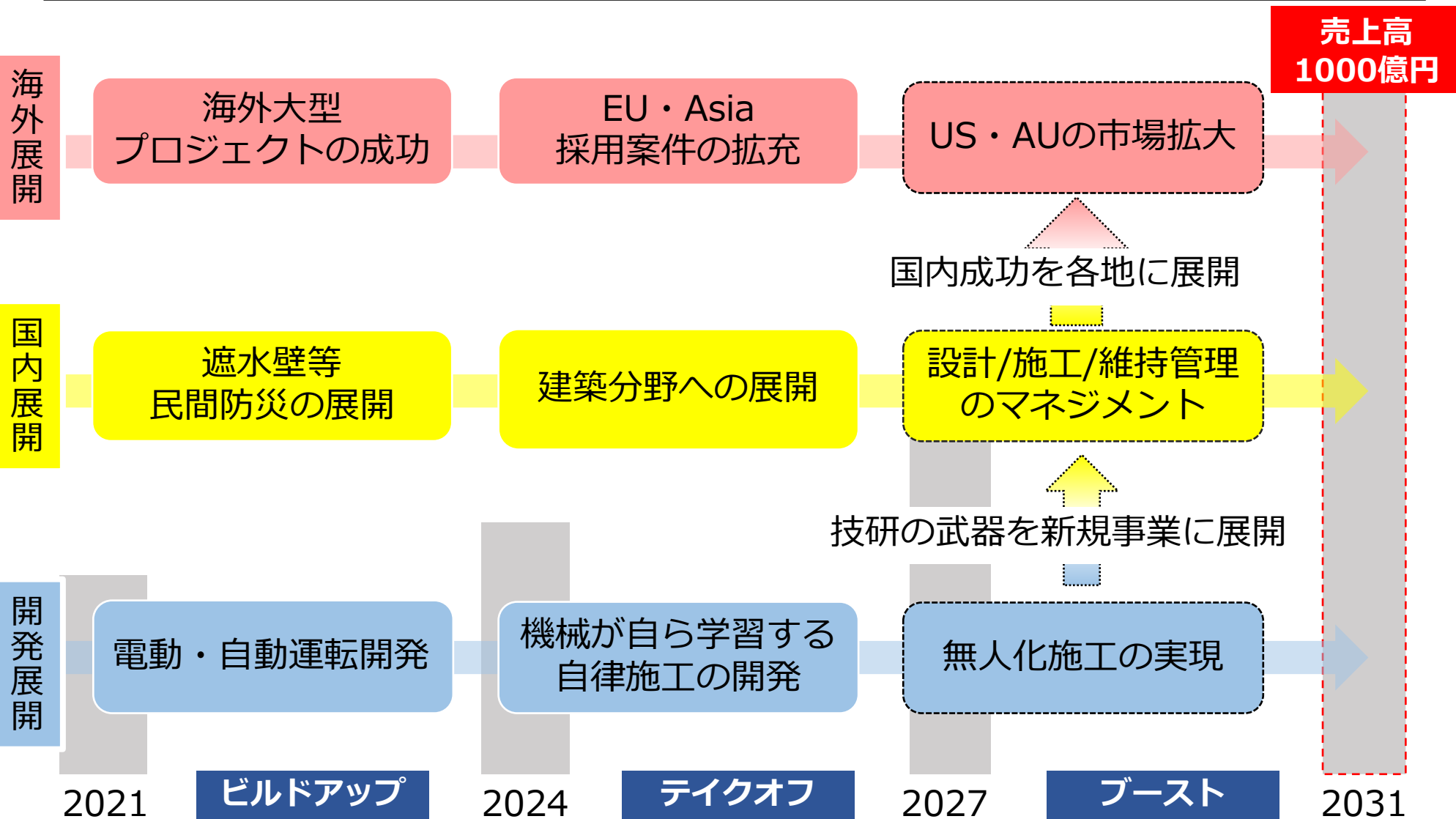
GIKEN GOALS 2031 売上目標

事業規模拡大×生産性向上で売上高1000億円を達成



GIKEN GOALS 2031 事業展開

開発をベースに国内外へ事業展開を実施



事業戦略を実現できる人材育成を実施

事業展開

海外展開

国内展開

開発展開



人材育成

圧入市場を創造する
人材

圧入業界を成長させる
専門スキル人材

経営・開発を
支える人材

インプラント工法で世界の建設を変える



GIKEN

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。